

はらむら



議会だより

第111号

平成24年11月8日発行

発行／長野県諏訪郡

原村議会

編集／議会広報編集委員会

TEL 0266-79-2111

FAX 0266-79-7951

☎ 391-0192



たのしい
保育所運動会

原っ子「運動会」

■平成24年■
第3回
定例会

- 9月定例会 2
- 委員会報告 4
- 組合議会等報告 6
- 一般質問 8
- 議会日誌 12

9月定例会

平成24年第3回定例会は9月11日から25日まで15日間で開催された。

「平成23年度一般会計決算の認定」など村長提出議案13件を審議した。

◎平成23年度一般会計決算の認定

一般会計決算の状況は、歳入総額42億1千870万6千円に対して、歳出総額35億8千677万9千円となり、差し引き差額は6億3千192万7千円であった。前年度との比較では、歳入は48%（2億1千246万3千円）の減、歳出は9.7%（3億8千482万円）の減となった。

勢働いているが、待遇改善が図られていない。

☆賛成討論

・学童クラブや原っ子広場及び福祉などの事業を積極的に進めている。総体として評価する。

◎原村国民健康保険事業特別会計決算の認定

前年度に比べ世帯数は18戸増、被保険者数は33人減になった。一人当たりの医療費は、全体で28万2千208円で前年比12.5%の増。

決算の状況は歳入総額が9億8千333万7千156円、歳出総額は9億5千515万9千546円で前年度に比べ歳入が15.2%、歳出も12.2%の増。収

☆反対討論
・臨時職員や嘱託職員は大

陳情の審議

支差引額は2千817万円余の黒字となり、基金繰入金及び繰越金を差し引いた単年度経常収支は669万5千214円の赤字となった。

審議された陳情と結果は次の通りです。

◎地球温暖化対策に関する

「地方財源を確保・充実する仕組み」の構築を求める意見書の採択を求める陳情書

陳情者

全国森林環境税創設

促進議員連盟

会長 板垣 一徳

「継続審査」



消防秋季訓練

原村教育委員会委員になられました。

森山 孝典たかのりさん（中新田）

任期 平成24年10月1日から
平成28年9月30日まで

(3) 第111号 はらむら議会だより

平成24年第3回定例会 審議結果

表記：○は賛成、×は反対、▽は退席、－は欠席

議案等 番号	議 案 名 等	議 員 名										審 議 結 果
		小池 和男	宮坂 早苗	鮫島 和美	木下 貞彦	小池 利治	矢島 昌彦	小平 雅彦	長谷川 寛	日達 徳吉	小林 庄三郎	
《村長提出》												
同意第2号	原村教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
議案第36号	原村防災会議条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第37号	原村災害対策本部条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第38号	平成24年度原村一般会計補正予算（第2号）について	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	可決
議案第39号	平成24年度原村国民健康保険事業勘定特別会計補正予算（第1号）について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
認定第1号	平成23年度原村一般会計決算の認定について	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	認定
認定第2号	平成23年度原村国民健康保険事業勘定特別会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
認定第3号	平成23年度原村国民健康保険直営診療施設勘定特別会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
認定第4号	平成23年度原村有線放送事業特別会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
認定第5号	平成23年度原村農業者労働災害共済事業特別会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
認定第6号	平成23年度原村後期高齢者医療特別会計決算の認定について	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	認定
議案第40号	平成23年度原村水道事業会計決算の認定並びに剰余金処分計算書（案）について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第41号	平成23年度原村下水道事業会計決算の認定並びに剰余金処分計算書（案）について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決



原っ子勇気100%

委員会報告

総務産業常任委員会

委員長 小平雅彦

平成24年度一般会計補正予算、23年度一般会計決算認定、条例の改正など7議案を審査した。

◎24年度一般会計補正予算
○賛成多数で可決すべきものとする。

(賛成3 反対1)

- ・電気自動車用急速充電器を設置する。エコビレッジ構想モデル事業として、CO₂排出削減につながる電気自動車の普及、来村者の利便性などを高めるねらいがある。
- ・「青年就農給付金」により新規就農者への支援を行なう。
- ・7月豪雨災害による水路などの農業用施設復旧工事を実施する。
- ・などの説明があった。
- ・水路改修、暗渠排水対策について議論し、要望は補正予算などで計画的に進める必要がある。
- ・青年就農給付金補助は新規就農に一定の効果が期

待出来るが、後継者対策の充実も必要。

- ・電気自動車用急速充電器の設置について議論し、利用に当たっては、設置場所、利用規程など十分に検討する必要があるなどの意見があった。

反対討論

- ・電気自動車用急速充電器設置事業は、利用状況、効果が不明確で必要性に疑問がある。

賛成討論

- ・豪雨災害の復旧工事、鳥獣害対策も必要で、電気自動車用急速充電器設置事業は環境対策事業として必要である。

◎23年度原村一般会計決算の認定

○賛成多数で可決すべきものとする。

(賛成3 反対1)

- ・滞納村税の徴収方法の改善により徴収率が大幅に改善した。(徴収率 平成22年 12・4%、平成23年 43・6%)
- ・公共交通は運行状況の検証、路線、ダイヤの改正などを行い利用状況も増加しつつある。
- ・エネルギー対策推進事業は、特別顧問を設け、持続可能なエコビレッジ構想実現に向け、取り組んでいる。
- ・東日本大震災の支援は避難者の受け入れ、南三陸町への職員派遣などを実施した。
- ・婚活事業は、出会いの場づくり、相談事業により成果が上がつつある。
- ・緊急経済対策として、原村中小企業振興資金制度の改正を実施した。
- ・などの説明があった。
- ・滞納村税の徴収方法の見直し、職員の連携により

徴収率が向上したことは高く評価できる。

- ・景気、雇用が厳しい中で、中小企業振興資金融資幹旋など制度資金の充実は商工業者の経営の安定につながった。今後も適時適切な対応を要望したい。
- ・農作物有害鳥獣防止補助金については、対象資材等のPRが必要などの意見があった。

反対討論

- ・臨時職員、嘱託職員が増加しているが、待遇改善が図られないのは問題。

賛成討論

- ・村税徴収率の向上は評価できる。中小企業制度資金の充実は商工業者の経営の安定につながっている。

◎23年度原村有線放送事業特別会計決算の認定

○全会一致で可決すべきものとする。

- ・デジタル放送開始により、LCVテレビサービス利用者なら誰でも視聴可能となることから、加入者維持負担金を廃止したなどの説明があった。
- ・25年度開始予定の文字放送は、必要とする情報、利用しやすい内容となるよう検討があった。
- ・などの意見があった。



不用木のチップ化作業

社会文教常任委員会

委員長 長谷川 寛

今議会で審査したのは、4議案、4件の決算認定について審査した。

◎24年度一般会計補正予算

○賛成多数で可決すべきものとす。

(賛成3 反対1)

- ・子ども手当の精算返還金。産休代替職員賃金。ポリオ生ワクチンから不活性ワクチンへの切り替えに伴うもの。
- ・学童クラブの安全対策に伴うフェンス設置。職員増員など。

◎24年度国民健康保険事業

勘定特別会計補正予算

○全会一致で可決すべきものとす。

- ・23年度精算に伴う返還金など。

◎23年度一般会計決算の認定

○賛成多数で可決するものとする。

- ・民生委員の仕事が増えている。原山地区の人口増加に伴い、委員の増員も必要になる。

(賛成3 反対1)

反対討論

- ・学童生徒指導費で臨時職員の時給単価が低すぎる。

賛成討論

- ・災害対応など早かった。必要な措置を取っている。

の嘱託職員、臨時職員が必要だが、できるだけ同一労働、同一賃金を目指すべきである。

- ・未満児棟も満員のようだが、定員を空けておく必要もある。本当の子育て支援の面では、未満児入所に関して基準が3歳以上児と同じなのは問題かもしれない。よりくわしい面接なども必要。
- ・参加保育の試みは良いのではないか。
- ・地域包括支援センターの委託は、介護予防事業など、スムーズに行われている。
- ・若者定住促進新築補助は、23年度は半減した。
- ・浄化槽基盤図整備が出来た。

反対討論

・臨時職員賃金単価が低い。

賛成討論

- ・中学校の大規模改修、心の相談事業など教育部門にも福祉の村づくりにも力を入れている。評価する。

◎23年度国民健康保険事業

勘定特別会計決算

○全会一致で可決すべきものとする。

- ・歳出の伸びが大きかったが、必ずしも1人当りの医療費が高いわけではない。一般会計繰入金は1億円を超え、基金も使い切っている。

◎23年度国民健康保険直営診療施設勘定特別会計決算の認定

○全会一致で可決すべきものとする。

- ・中央病院との連携がうまくいっている。研修医との関係も良く、患者数も増えている。信頼感が高く、評価する。

◎23年度後期高齢者医療特別会計決算の認定

○賛成多数で可決すべきものとする。

(賛成3 反対1)

反対討論

- ・制度として、高齢者差別に当たる。

賛成討論

- ・制度として高齢者の医療を安定させている。保険制度として必要である。

組合議会等報告

諏訪広域連合

第3回定例会は、9月26日・27日に開催された。議案3件、決算認定6件を全会一致で可決・認定した。

◎諏訪広域連合火災予防条例の一部改正

(内容)電気自動車等の急速充電設備の安全対策基準を定めるもの。現況は岡谷に一カ所あり、電源は400ボルト、5分間充電で40km走行可能とのこと。

◎平成23年度一般会計・特別会計決算の認定

☆一般会計

(内容)歳出では、病院群輪番制病院(6病院)運営事業補助金として3千274万1千円。小児夜間急病センター事業費として1千152万8千円など。

☆特別養護老人ホーム恋月荘

(内容)平成24年3月末在所者数は、73人(男・11、女・62)。うち原村からの入所者は5人。

☆救護施設八ヶ岳寮

・平成24年3月末在所者数は133人(男・65、女・68)

☆介護保険

(内容)第1号被保険者数は、広域全体で5万5千728人。内、原村は2千108人。介護サービス利用状況は、月平均で広域全体で7千279人が利用(利用率83・9%)内、原村は292人(利用率83・9%)。

☆諏訪広域消防

(内容)主な歳出としては、各消防署費の他、平成27年4月運用開始の消防緊急デジタル無線整備基金など。

諏訪広域連合 平成23年度決算

(単位：千円)

会計名	歳入	歳出	差引額	原村負担金
一般会計	192,299	165,194	27,105	8,876
特別会計				
特別養護老人ホーム 恋月荘	422,658	370,991	51,667	-
救護施設 八ヶ岳寮	480,310	454,772	25,538	3,696
介護保険	14,642,907	14,548,290	94,617	83,354
諏訪広域消防	2,135,712	1,972,008	163,704	124,780
ふるさと市町村圏基金事業	22,400	9,846	12,544	-

諏訪中央病院組合

8月定例会が、8月28日に開催され、平成23年度決算案などの提出があり、全議案を全会一致で可決・認定した。

利用患者数は、入院が11万2千222人で1千503人の減、外来は19万3千980人で2千383人の増(ともに前年度比)となった。

入院患者数は減ったものの、診療報酬で加算のあるハイケアユニットや感染対策の取得で診療単価が上がり、総収益は前年より約1億6千800万円の増となるが、人件費及び医薬品代が増えたことなどで、総費用も約7千800万円増え、1億円余の赤字となり、当年度末、未処理欠損金は14億9千210万円となった。赤字決算は7年連続だが、赤字幅は改善、収支均衡まであと一歩としている。

介護老人保健施設「やすらぎの丘」介護老人福祉施設「ふれあいの里」及び看護専門学校の特別会計決算案も全会一致で認定した。

諏訪中央病院組合 平成23年度決算

(単位：千円)

会計名	収入	支出	差引額	原村負担金
病院事業	7,327,124	7,427,868	△100,744	42,309
老人保健施設	617,285	616,591	694	3,486
看護専門学校	147,351	132,020	15,331	7,761
老人福祉施設	392,819	369,901	22,918	-



9月28日に、23年度決算
議会が開催された。行政事
務組合一般会計決算（斎場
事業）ごみ処理事業特別会
計決算、いずれも全会一致
で認定した。

ごみ処理事業会計で、繰
越金の額が大きいのは、焼
却灰運搬処理業務委託に係
る入札差金によるもの（1
千816万3千891円）等。

リサイクルセンターは、
25年度にはごみ処理基本計
画の規約改正をし、26年度
に実行予算を盛りたい。

また将来的に最終処分場
も必要であり、検討も始め
る必要がある。との話があ
った。



諏訪南行政事務組合 平成23年度決算

(単位:千円)

会計名	歳入	歳出	差引額	原村負担金
一般会計	64,328	55,690	8,638	4,373
ごみ処理 特別会計	767,017	730,616	36,401	71,124

9月26日に南諏訪衛生施設
組合定例会が富士見町議会
議場において開催された。
平成23年度南諏訪衛生施設
組合会計歳入歳出決算を全
会一致で可決・認定した。

南諏訪衛生施設組合は設立
41年を迎えた。

現在、し尿処理施設・埋
め立て処分場施設は順調に
稼働中であるが、各施設と
も老朽化が進んでいる。延
命化を図るため、早めに修
繕工事・機器類の計画的更
新及び日常の保守・点検作
業を丁寧に行うことによっ
て、大規模な故障が起こら
ないように努めている。と
の説明があった。



南諏訪衛生施設組合 平成23年度決算

(単位:千円)

	合計	※原村負担金
歳入	202,710	47,034
歳出	168,065	-
差引額	34,645	-

※原村負担金は人口割(富士見町66.4% 原村33.6%)により算出



一般質問 村政を問う

原村健康づくり 推進条例を 小林 庄三郎 総合的に考える



〔質問〕特定検診の受診率(65%)はハードルが高く、達成は難しいと考えられるが、状況は。未達成の場合、どのような影響があるか。

〔課長〕平成23年度の受診率は速報値で34・8%と、思うように伸びてはいませんが、特定保健指導(平成22年度)については県の平均以上の数字になっている。受診率の未達成の場合は確定ではないが村の負担増も考えられる。

〔質問〕健康づくりを進めるには人手が必要、保健師増員の考えは。

〔村長〕原村の対人口当たりの保健師の数は、諏訪地方自治体の中でも随一で、手厚くやっていると自負している。増員は定員管理上、総合的に考えて検討する。

〔質問〕村民の健康維持、増進のために「原村健康づくり推進条例」をつくる考えは。

〔村長〕健康づくり推進条例というものは、その目的からすると、確かに有効であ

子育て支援センターの設置は 小平 雅彦 委員会を設けて検討する



り、必要なこととも考えられる。原村地域包括医療推進協議会設置条例で、他市町に先行して住民の健康づくりを推進している。健康づくり推進条例の制定については総合的に考えさせていきたい。

〔質問〕教育現場におけるいじめ、教員の不祥事が社会問題となっている。いじめや不祥事の防止対策は。

〔教育長〕国や県と連携を取り、いじめ、不祥事に校長を中心に全職員が一体となって取り組む。職員が子どもたちのモデルとなるよう温かい雰囲気づくり、あいさつ運動、人権教育、道徳教育を進めていく。

〔質問〕家庭や地域の子育て力が低下している。こどもや子育て家庭の支援の現状と子育て支援の拠点となる「子育て支援センター」の設置に対する考えは。

〔課長〕子育て支援は、「原村次世代育成計画」、「原つ子育てみプラン」を策定し、子育てサロンの開催、家庭訪問による育児相談などを実施している。

〔子育て支援センター〕については、検討委員会を設置し検討していく。

〔質問〕移住交流事業の評価、推進のための連絡協議

会の設置は。

〔村長〕移住希望者の要望、支援内容は行政課題が多いので庁内体制の整備を検討したい。

〔課長〕事業は平成7年度より実施し、現地見学会などを通じて141人の転入に結びつき、この事業が担う役割は大きい。



サステイナブルハウスの

有効利用を

長谷川 寛

長谷川 寛 長谷川 寛 長谷川 寛 長谷川 寛 長谷川 寛 長谷川 寛 長谷川 寛 長谷川 寛 長谷川 寛 長谷川 寛

エネルギー自立の 先進的な施設にする



設は考えていない。

（質問）リサイクルセンター検討委員会の審議も進んでいるが、過剰に豪華な施設も視野に入っているようで危惧している。

近隣の手本となるべく、ゼロウェイストへ近づくためにも、民間施設の利用、小規模施設の設置を検討すべき。

「村長」諏訪南の人口規模ではどういふ施設がいかに議論し、実情に合うものにしていくことが重要と考えている。

（その他の質問事項）
○自由農園の浄化槽の放流水の検査はどうなっ

（9） 第111号 はらむら議会だより
「村長」エネルギー自立の先進的な施設にし、研究者や学生に見学、利用してもらいたい。経済産業省の補助を受けられるようアプローチしたいので、併設の施

今後の特別顧問の仕事は

木下 貞彦

エコ施設の装備計画を作り 経産省と大学へのアプローチ



（質問）エコビレッジ構想の進行状況について。

「村長」24年度に於いては、経産省には窓口が見つからなかった。サステイナブルハウスは、農水省の採択だ。ゼミやオープンディスプレイの場に活用してもらいたい、見学研究の一助にしたい。

これから経産省に働きかけ、エネルギー自立により外部電源を作らず、中に装備するエコ関係の機器の補助金を頂いて設備を設置したい。農水省の補助金で建物は建てるので、原村の野菜や加工品を販売するコーナーを設けたい。仮称エコビレッジ推進委員会を設けて、住民意見を聞いて進めていきたい。

（質問）農山漁村活性化プロジェクト支援交付事業について、平成22年度より原村への交流人口が、27年度に8千700人増となる計画の具体策は。また、直売所、農産物加工所の運営準備は。

「課長」原村を訪れる観光客は、平成4年の38万8千100人をピークに、22年度は18万4千400人となり、エコラインの開通もあつたが、通過型観光地の傾向にある。

サステイナブルハウスにおいては、教育交流機能や研修体験機能を持たせる計画とする。直売所は原則夏から秋だが、加工所が完成したら加工特産品の販売や、冬から秋にかけてはクラフト展示販売をし、稼働率の向上を図る。

また、信州諏訪農協の参画や、商工会の皆さんとも連携して進めていきたい。10年来の念願であり、これを契機にスタートラインにつくことが重要であり、加工所の設置場所や加工品目は有識者も含めて検討委員会で決定していく。
施設の名称については、原村をアピール出来るものにしていきたい。

いるか。
○原村内で検査を受けていない浄化槽に関して、行政の指導を行う予定は。

鳥獣害対策でエコライン より西側の森林整備は 小池利治

具体的に決まっていない



〔質問〕エコラインより西側の森林にシカが住み着いていると思われる。田んぼや畑を所かまわず歩きまわり、被害が大きい。耕作地に近い森林の整備および間伐事業を進めれば、シカ対策には大いに役立つと思うが。

〔村長〕払沢上で整備をし

た所は効果があったと言える。順次広げていきたいが具体的にどこをやるといいう計画はまだ決まっていない。

〔質問〕電気柵の考えは。

〔村長〕管理が大変なので計画にない。

〔質問〕猟友会の皆さんによるワナの設置が行われている。見回り、ワナの購入等、個人の負担も大きいと聞くが、現在ワナによる捕獲状況は。

〔課長〕24年度は80基のワナを購入、現在50基が設置されている。捕獲頭数は約30頭である。

〔質問〕熊の出没が毎年言われている。出沒対象地域の小中学生に鈴の貸し出しを。

〔村長〕周辺市町ではやっていない。もし必要なら自己防衛として、自分で用意してほしい。

〔質問〕補助金事業について。太陽光発電、住宅リフォームの補助金に対して、他市町は申請数が多く、予算の見直しをしていると聞



消費税増税への村の対応は

鮫島和美

現在は情勢を見守るのみ

〔質問〕「消費税増税法」を廃止すべきだという意見が過半数を占めている。消費税増税が2014年4月に施行となると、村民の生活、村政にどう影響すると考えるか。また、村としての対応は。

〔村長〕国民生活を打撃することになる。施行前の今は情勢を見守るのみである。

くが原村の現在の状況は。もっと進めるべきでは。

〔村長〕住宅リフォームは9月6日時点で申請件数は10件、補助金の交付決定額は100万円。太陽光発電は申請件数30件。交付決定額は308万4千円である。村としては補助制度について、十分宣伝をしているので、これ以上するつもりはない。

〔質問〕今年度、7年ぶりに国保税が上がり、1人当たり平均、年額11万3千486円となった。国保税大幅値上げの村民生活への影響をどう考えるか。

〔村長〕村民の生活に大きな影響はあるだろう。国保財政への国庫支出の縮小のしわ寄せが市町村にきているのも事実である。しかし、国保制度の基本は被保険者が全員で共同事業としてやっているということである。村としての責務もあるが、被保険者にも負担してもらわなければならない。

った。「今回のような大幅値上げの場合はもっと早く知らせたい」等の要望もあった。

〔質問〕学童保育を夏休み等に利用する場合、1日600円加算される。利用日数や子どもの数によっては保護者の負担が過重になるので検討して欲しい。

〔村長〕8月と3月の保護者負担は基準額3千円の半分、1千500円にしている。休み中の日額600円は6市町村で統一されている。

〔質問〕介護保険の大幅な値上げに対する問い合わせも多かったのではないか。

〔課長〕値上げについての問い合わせは10数件あ

(質問) 現在、産業の発展という視点からでている太陽光発電補助を、視点を変えて、住民の生活費・家計費の軽減、災害時の電力の確保、クリーンなエネルギーをつくるというCO₂の削減という環境面から、補助の見直しをしたらどうか。



太陽光発電の補助の拡大を

宮坂早苗

電力需給は国の政策である

原発ゼロのエネルギー政策へと変わっていく中、地域ごとにエネルギーの確保、自分が使うエネルギーを他の地域でつくってもらうのではなく、自分で用立てする責任、エネルギーをいくらかでも使えるという生活の見直しをすることが、大切になってくる。

今後、光熱費の増額や増税による家計費の負担は、住民の生活に影響を与える。家計費の軽減ということでは、自家発電をすることで電力費を抑えることができると。災害時どこの家でも電力の確保ができるという意味では、安心して行動することにつながる。

現在、中部電力と余剰電力買取制度で契約している世帯は、200世帯。住宅、公民館、農業・商業用、全ての屋根を資源と考え、原村全体を発電所とすること。新設、増設を問わず、早急な普及の拡大を検討したらどうか。あわせて自然界の様々なエネルギーの活用など、県では、行政に向けた小水力発電についての相談

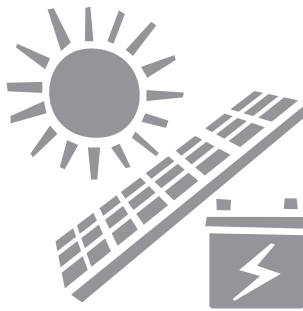
窓口を設けているので活用したらどうか。

「村長」電力需給は、国の政策、方針である。

原村の屋根が資源だということとはわかるが、村が全部やっていくということは、財政上不可能である。

(その他質問)

○柳沢・大久保地区、南原地区への小規模な避難施設の設置について



(質問) 最近局地的に大雨が降り、七月二十日には汐に土石流が発生した。昨年の九月にも汐に倒木があった。弘沢湧水汐の改修をして欲しい。場所は「たてしな自由農園」北側の汐である。

「村長」汐は地元が管理しているので村は手を出さない。

(質問) 開発が進み大雨のたびに汐が溢れたり、土石流があり、下の汐にも流れこむ特殊の汐である。ぜひ改修をして欲しい。

「村長」改修するとなれば同様の汐を持っている他の地区も同様なので、協議や協定が必要になる。

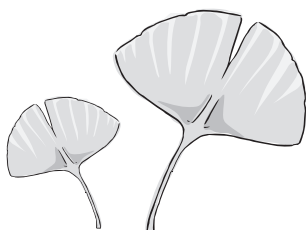
弘沢湧水汐の改修を

日達徳吉

協議や協定が必要

(質問) 上里地区の村道7027号線(エコーライン東側)は砂利道で、大雨のたびに砂利が横道に流れ出し、危険なので舗装にして欲しい。

「課長」道路幅のこともあり、地元負担金が生じる。現在、区からの要望はない。止水板を二基設置してある。建設資材支給事業により地元施工で対応してもらうことも出来る。大雨による出水時には道路パトロールをしておきたい。



議会日誌

7月	6日	7月	25日	9月	30日
森林・林業・林産業 活性化促進議員連盟 草刈り	27日	老人クラブ連合会 ゲートボール大会	25日	議会運営委員会	諏訪広域連合議会運 営委員会
8日	26日	諏訪湖浄化対策連絡 協議会	26日	8日	22日
諏訪地区消防ポンプ 操法・ラッパ吹奏大 会	歴史民俗資料館運営 協議会	26日	8日	原村保育所運動会	原小学校運動会
10日	8月	諏訪中央病院組合決 算審査	10日	10日	23日
国民平和大行進	6日	環境保全審議会	国民健康保険運営協 議会	11~25日	ニュージーランド プケコへ来村歓迎式 及びウェルカムパー ティー
11日	6日	全員協議会	6日	14日	26日
議会広報編集委員会	諏訪中央病院組合決 算審査	10日	議会運営委員会	原中学校もみの木祭 例会	26日
茅野市・原村青少年 健全育成推進大会	環境保全審議会	10日	8日	15日	26日
健全育成推進大会	全員協議会	10日	原村保育所運動会	原村消防団秋季訓練	南諏衛生施設組合議 会
13日	10日	野県連絡会総会及び 研修会	10日	17日	26日
総務産業常任委員会	全員協議会	13日	国民健康保険運営協 議会	敬老会	26日
柳川三ヶ村汐現地視 察	森林・林業・林産業 活性化議員連盟・長 野県連絡会総会及び 研修会	14日	11~25日	中信地区私学助成推 進協議会陳情来庁	26日
原村図書館協議会	岡谷太鼓まつり	14日	第3回村議会定 例会	30日	26日
村民スポーツ祭	ふるさと大会	14日	原中学校もみの木祭 全員協議会	28日	26日
15日	14日	原村図書館協議会視 察研修	14日	28日	26日
諏訪郡市国道20号改 修・バイパス建設促 進期成同盟会総会	ふるさと大会	17日	原中学校もみの木祭 全員協議会	諏訪南行政事務組合 議会	南諏衛生施設組合議 会
17日	14日	原村図書館協議会視 察研修	15日	28日	26日
愛媛県伊予郡砥部町 議会厚生常任委員会 視察研修来村	ふるさと大会	17日	原村消防団秋季訓練	28日	26日
18日	18日	よいしよまつり	17日	29日	26日
第2回諏訪広域連合 議会臨時会	よいしよまつり	21日	敬老会	30日	26日
20日	21日	リニア中央新幹線建 設促進諏訪地区期成 同盟会理事会・総会	中信地区私学助成推 進協議会陳情来庁	戦没者追悼式	26日
23日	21日	リニア中央新幹線建 設促進諏訪地区期成 同盟会理事会・総会	21日	30日	26日
町村議会議員研修会	リニア中央新幹線建 設促進諏訪地区期成 同盟会理事会・総会	24日	21日	30日	26日
24日	24日	諏訪地方議会議員交 流会	21日	30日	26日
3施設合同納涼祭	諏訪地方議会議員交 流会	28日	21日	30日	26日
	28日	諏訪中央病院組合議 会8月定例会	21日	30日	26日
	28日	諏訪中央病院開院記 念式典	21日	30日	26日

議会の傍聴に お出かけください

次回(平成24年12月)の定例会は
12月4日(火)招集の予定です。
一般質問の放送を
サラダチャンネルで行っています。
どうぞご覧ください。

お問い合わせは、議会事務局に(0266-79-7951)

編集後記

春先の天候不順で苗作りには苦労しましたが、夏になり、天候が回復して豊作となりました。各団体の運動会も順調に終わりました。議会ではエコビレッジ構想モデル事業等が議論されています。住民の安心のために活動しています。

お近くの議員に、ご意見・ご要望をお寄せ下さい。

(日達 徳吉 記)

編集委員会

- 委員長 小林庄三郎
- 副委員長 小平 雅彦
- 委員 小池 和男
- 同 宮坂 早苗
- 同 鮫島 和美
- 同 日達 徳吉

